

みずほCustomer Desk Report 2020/03/05号(As of 2020/03/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.36
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.08	1.1177	119.65	1.2819	0.6585
SYD-NY High	107.69	1.1186	120.12	1.2873	0.6628
SYD-NY Low	106.85	1.1096	119.03	1.2771	0.6578
NY 5:00 PM	107.56	1.1135	119.74	1.2873	0.6626
NY DOW	27,090.86	1,173.45	日本2年債	-0.280	▲3.00bp
NASDAQ	9,018.09	334.00	日本10年債	-0.140	▲2.00bp
S&P	3,130.12	126.75	米国2年債	0.6887	▲0.85bp
日経平均	21,100.06	17.33	米国5年債	0.7848	4.25bp
TOPIX	1,502.50	▲2.62	米国10年債	1.0538	5.56bp
シカゴ日経先物	21,395.00	505.00	独10年債	-0.6400	▲1.20bp
ロンドンFT	6,815.59	97.39	英10年債	0.3675	▲1.90bp
DAX	12,127.69	142.30	豪10年債	0.7220	▲5.95bp
ハンセン指数	26,222.07	▲62.75	USDJPY 1M Vol	8.01	▲1.26%
上海総合	3,011.67	18.77	USDJPY 3M Vol	7.33	▲0.72%
NY金	1,643.00	▲1.40	USDJPY 6M Vol	7.00	▲0.71%
WTI	46.78	▲0.40	USDJPY 1M 25RR	-2.30	Yen Call Over
CRB指数	164.67	▲0.26	EURJPY 3M Vol	7.55	▲0.69%
ドルインデックス	97.39	0.24	EURJPY 6M Vol	7.12	▲0.83%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月4日	10:45	中	Caixinサービス業/総合PMI	2月 26.5/27.5 48.0/-
	9:30	豪	GDP(前期比/前年比)	4Q 0.4%/2.0% 0.5%/2.2%
	19:00	欧	小売売上高(前月比/前年比)	1月 0.6%/1.7% 0.6%/1.1%
	22:15	米	ADP雇用統計	2月 183k 170k
3月5日	23:45	米	マーケットサービス業PMI・確報	2月 49.4 49.4
	0:00	米	ISM非製造業指数	2月 57.3 54.8

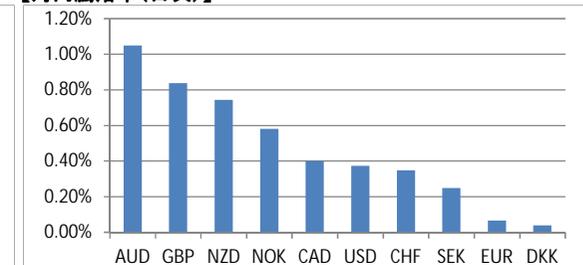
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月5日	09:30	豪	貿易収支	1月 A\$4,800M A\$5,223M
	22:00	英	ホールデンBOE理事 講演	-
	22:30	米	新規失業保険申請件数	- 215k 219k
3月6日	00:00	米	製造業受注(前月比)	1月 -0.1% 1.8%
	00:00	米	耐久財受注(前月比)・確報	1月 -0.2% -0.2%
	00:00	米	耐久財受注(除輸送用機器)・確報	1月 - 0.9%
	02:00	英	カーニーBOE総裁 講演	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 新型肺炎の織込みと米ドルの位置付け

現在のマーケットにおける各種相場のレベルが、新型肺炎の影響を織り込むことができているかどうか、見方は分かれるだろう。昨日は米大統領選における民主党候補指名に向けて多くの州で予備選が行われ(スーパーチューズデー)、事前予想より穏健派バイデン氏の躍進が伝えられた。これは米株式市場にやや好意的に捉えられた可能性があるものの、まずは新型肺炎の影響と各国政府・中銀の対応が引き続き注目トピックだ。

各国の対応という点では、FRBが50bpの緊急利下げを行ったことは2008年の金融危機後以来のことで、発表後に米10年債利回りが過去最低の1.0%を割り込んだことも含め大きな出来事だ。利下げがいずれ行われること自体は事前に金利先物市場にある程度織り込まれていたが、緊急利下げ決定後の現在も、3月FOMC(3/18米国時間発表)で1回の利下げ、2020年末までは約3回程度の利下げが織り込まれており、やや行き過ぎ感がある。米国の経済指標に兆候が出てくる前に50bpの利下げを決定したことへの是非はともかく、昨日セントルイス連銀総裁(ハト派)も次会合に向けた市場の期待を「間違いない」と否定しており、当面は新型肺炎の実体経済への影響について動向を見極めていくこととなる。

この流れの中で、米国の今般の緊急利下げや更なる追加利下げにより、従前主要国内では最高圏の金利となっていた米ドルの堅調さが揺らぐおそれが出てくるが、米国に先んじて豪州は0.5%の利下げで政策金利が0.5%に、昨日カナダでも0.5%の利下げが行われた。マイナス金利となっている日欧の動きは限定的となる可能性が高いものの、相対的に見ると主要国通貨における米ドルの優位性は大きく揺らがない。米株式市場も利下げによって支えられるとみれば、当面ドル円の下値は相応に堅いと予想しておきたい。(高村)

■今週のドル/円 見直し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ペア	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ペア	ペア

ブル	ペア
8	12



東京	前日米株価が大幅安で引けたことを受けて、オセアニア時間にドル円は106.85を付けたが、すぐに値を戻し東京時間のドル円は107.08レベルでオープン。日経平均株価がプラスに転じるドル円は107.52まで上値を伸ばした。また、スーパーチューズデーの開業が進む中、中道派のバイデン氏が優勢となったこともドル円を下支えし、結局107.46レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.46レベルでオープン、ダウ先物と欧州株が大幅高となる一方、米10年債利回りが低下するなかで、ドル円相場はもみ合いとなった。107.54レベルでNY渡った。ロンドンドルは、1.2807レベルでオープン、2月の英サービス業PMIは53.2と、前月の53.3からやや低下し、市場予想を下回ったが、相場への影響はほぼ無かった。1.2801レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリ- 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	前日の米株安を受けて海外市場で106.85まで下落したドル円は、米民主党政権争いの重要なポイントとされるスーパーチューズデーで、14州中9州で中道派のバイデン候補が勝利する見込みとなったことから、海外市場で過度な円買いが後退し、107.69まで戻し、107.54レベルでNYオープン。朝方は、米2月ADP雇用統計が予想以上の結果となったものの、前回分が大きく下方修正されたことから107.46まで下押しする。その後も米金利が低下する動きに107.15まで下落する。10時に発表された米2月ISM非製造業景況指数が予想を上回り、同時に発表されたカナダ中銀理事会結果は、翌日物貸出金利の0.5ポイント利下げとなり、ドル買いカナダドル売りが強まったことや、民主党政権争いからブルームバーグ氏が撤退し、バイデン氏を支持することを表明したこともあり、107.54まで戻す。午後に入り、米議会でコロナウイルスに対する83億ドルの緊急予算が承認されたことから、株式市場で急速に買い戻しが進む一方、円売りに際は繋がらず、米金利も終盤に掛けて上昇したものの、ドル買いも強まらず、ドル円は107.40付近での推移が続き、107.56レベルでクロスした。一方、海外市場で1.1186まで戻したユーロドルは、1.1114レベルでNYオープン。朝方はドル売りが先行したものの、ユーロ円が下落する動きにユーロドルも連れて1.1096まで下落する。正午頃には一旦1.1145まで戻すものの、午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1135レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。